

政策総務常任委員会説明資料

目 次

◎所管事項

- 1 水力発電事業の民間譲渡について 1
- 2 木曾川水系連絡導水路事業について 9
- 3 「^{うま}美し国おこし・三重」の取組について 13

【別冊資料】

- 木曾川水系連絡導水路事業について【資料集】（別冊）
- 「^{うま}美し国おこし・三重」の取組について
 - ・平成 22 年度実施計画中間案【概要版】（別冊 1）
 - ・平成 22 年度実施計画中間案（別冊 2）

平成 22 年 1 月 22 日

政 策 部

1 水力発電事業の民間譲渡について

1 継続協議となっている課題の状況等

水力発電事業の民間譲渡にあたって、地域貢献の取組、確認書締結後の新たな課題、設備、用地などの残された課題を解決するため、関係者との協議や現地での作業などを進めています。

(1) 地域貢献に関する課題

- 平成21年3月30日付で中部電力㈱と締結した「三重県企業庁水力発電事業の譲渡・譲受に関する確認書」における地域貢献の取組課題14項目のうち、合意に至っていない3項目（三浦湾への緊急発電放流、森林環境の保全、奥伊勢湖環境保全対策協議会への参画）については、協議を続けているものの平行線の状態が続いています。
- 緊急発電放流については、高濁水により宮川第一・第二発電所の発電設備が破損するリスクはゼロではないこと、また、治水は県の役割であることなどから、受け入れられないとの見解が示されています。
- 森林環境の保全、奥伊勢湖環境保全対策協議会についても民間電気事業者の役割を超えるものであり、受け入れられないとの見解が示されています。

(2) 確認書締結後の新たな課題

確認書締結後に新たに提起された課題（運転監視システムの整備、使用中のPCB含有変圧器の扱い）について、協議を行っていますが、これらは譲渡目標時期に影響するとともに、今後の設備改修計画にも影響することから、県としての方針を固め、解決に向けた結論を出す必要があります。

【協議状況】

	中部電力㈱の考え方	県の考え方
運転監視システムの整備	<ul style="list-style-type: none">津市の給電制御所で運転監視するためのシステムを整備する間(3~4年程度)、現在の三瀬谷発電管理事務所のシステムを使用する。この間、県職員の派遣または県への受託で対応したい。	<ul style="list-style-type: none">譲渡後の業務継承に職員の派遣は法律上不可能であり、受託することも業務の性格上困難である。
PCB含有変圧器	<ul style="list-style-type: none">機器劣化や社内基準等から取替時期にきている。県で取替処理後に譲受したい。	<ul style="list-style-type: none">当面の使用は可能。平成22年度末までの取替は不可能

(3) 設備関係

老朽化設備の前倒し補修や維持管理上必要な図書類の整理などを引き続き進めています。

宮川第三発電所の建屋クラックについては、予備調査が完了したことから、改修方法や施工分担等について、協議しています。

〈主な課題〉

○発電設備の改修等

- ・ 鉄管塗装等、老朽化施設の前倒し補修
- ・ PCB含有変圧器等の取替、宮川第三発電所のクラック、漏水補修等
- ・ 中部電力㈱が必要としない不要設備の整理

○維持管理上必要な図書類の整理

(4) 用地・権利関係

境界確認、用地測量、用地境界杭設置、管理用図面等の作成業務を引き続き進めています。また、未登記(19筆)の解消、地役権の設定、発電所敷地内の国有地の払い下げ・付け替え等についても、譲渡までに実施できるよう進めています。

用地境界確認作業は、平成21年12月末時点で全1,229筆のうち1,088筆〔88.5%〕の確認が終わっています。

また、未登記物件のうち3筆については地権者の同意が得られ、所有権移転を行っています。

(5) 譲渡価格

譲渡価格の考え方については、資産や収益性の観点、他県での譲渡事例、専門家の知見など、様々な要素を踏まえ、関係部局と連携して検討しています。

中部電力㈱との譲渡価格の協議については、双方の譲渡価格に対する考え方について協議しています。

2 今後の対応

(1) 地域貢献に関する課題

合意に至っていない地域貢献の取組については、中部電力㈱による継承が非常に困難であることに変わりはありませんが、今年度内には県としての対応を決定したいと考えています。

(2) 確認書締結後の新たな課題

- ・ 運転監視システムの整備については、中部電力㈱のシステム整備期間中の運転監視を県による派遣や受託で対応できないので、譲渡目標時期を中部電力㈱の整備期間に合わせて、平成22年度末から3～4年程度延ばす方向で協議していくこととします。
- ・ PCB含有変圧器については、譲渡目標時期の延伸期間に合わせて、中部電力㈱の費用負担を条件に県で取り替える方向で協議を進めます。
- ・ 今後、譲渡目標時期を延ばす方向で協議を進めることから、平成22年度以降の中部電力㈱との「電力受給に関する基本契約」については、新たに10年間の基本契約を締結することとします。

(3) 譲渡価格

県庁内で、公平性、透明性を担保できる適切な譲渡価格となるよう、引き続き専門家の助言などを得ながら進めるとともに、中部電力(株)とは、地域貢献課題や新たな課題の整理の方向性も見極めつつ、具体的な譲渡価格の算定について合意できるよう協議を進めていきます。

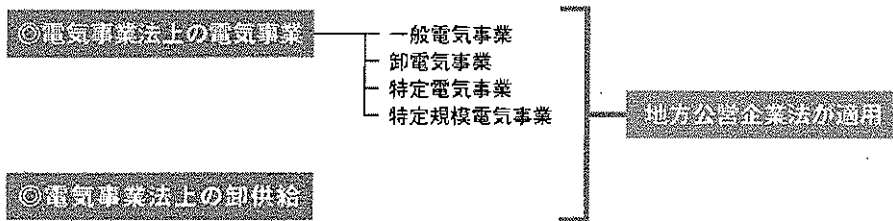
(参考) 公営電気事業者における電気事業法上の位置付け

- ・ 中部電力(株)と単年度の「電力受給契約」を締結して売電する場合、電気事業法上の自家発電となる。
- ・ 中部電力(株)と10年以上の「電力受給に関する基本契約」を締結し、経済産業省に届け出たうえで売電する場合、電気事業法上の卸供給事業者となる。

公営電気の法的位置づけ

地方公営企業法

地方公共団体が経営する電気事業（電気事業法第2条に規定する「電気事業」及び「卸供給」）については地方公営企業法が適用されます。



電気事業法

平成7年12月に電気事業法が改正され、公営電気事業は卸電気事業（電気事業）から卸供給（非電気事業）に移行しました。ただし、経過措置により、平成22年3月までは「みなし卸電気事業者」として引き続き電気事業者として位置づけられています。

	電気事業			卸供給		
	一般電気事業者	特定電気事業者	特定規模電気事業者	卸電気事業者	卸供給事業者	自家発電
事業者	10電力会社	諏訪エネルギーサービス、尼崎ユーティリティサービス他	ダイヤモンドパワー、イーレックス、エネット他	電源開発(株)、日本原子力発電(株)他	公営電気、共同火力、独立発電事業者(IPP)他	企業等で自家発電設備を有するもの
事業内容	一般の需要に対する電気の供給を行う	特定の供給地点に対する電気の供給を行う	特定規模の需要に対する電気の供給を行う（一般電気事業者の送電線を使用）	一般電気事業者に対する電気の供給を行う（出力200万kW超）	一般電気事業者に対する電気の供給を行う（10年以上千kW超又は5年以上10万kW超）	自家発電余剰電力の売電を行う

出典：H15年度公営電気事業者経営者会議パンフレット

地域貢献の取組課題(H21.3.30 確認書 別紙2その1)

確認書に記載した課題		確認書で合意した対応方針
項目	内容	
1	宮川の流量回復 ○宮川ルネッサンス事業が取り組む宮川の流量回復に対して、水利使用規則に定められた宮川ダムからの河川維持放流量(毎秒0.37m³)に、発電用貯留水から毎秒0.13m³を上乗せした毎秒0.5m³の放流を平成18年4月から実施している。 ○流域関係市町からの更なる流量回復への要望や、県議会「宮川プロジェクト会議」における議論の内容を踏まえ、甲は「流量回復についての基本姿勢(案)」に基づき対応していくこととし、その中で新たに「粟生頭首工直下で毎秒3m³を下回る場合、宮川ダムから年間1,000万m³を限度に放流する」方針としたところ、県議会からもこの方針を尊重する旨の提言が出された。	○宮川ダムからの毎秒0.5m³の放流を継続する。 ○今後放流に係る運用ルールを定め、流量回復として年間1,000万m³を限度に放流することとする。
2	治水機能の確保 ①宮川ダムにおける事前放流等 ○治水上必要と判断される場合には、洪水調整容量を多く確保するために発電容量を含めた事前放流を実施できるとする内容の覚書及び確認事項を宮川ダム管理者と交換し、運用について協力している。 ○宮川ダム放流時は、三瀬谷ダムも連携し、ダム水位を事前に低下させる運用を行っている。	○事前放流の協力について、覚書に基づき現在の運用を継続する。 ○宮川ダム放流と連携した三瀬谷ダムの運用を継続する。
	②三浦湾への緊急発電放流 ○H16年度の災害時の出水と同規模の出水が発生した場合には、宮川第一、第二発電所において、緊急発電放流を行うための運用方法を検討する。	○緊急発電放流について引き続き協議していく。
	③三瀬谷ダム湖内の砂利採取 ○河川管理者が許可した砂利採取業者が行う砂利採取に対して、ダム運用に支障のない範囲で協力している。	○ダム運用に支障のない範囲で協力を継続する。
3	灌漑補給(三瀬谷ダム、宮川ダム) ○宮川ダム建設時や三瀬谷ダム建設時に締結された協定に基づく運用を行っている。 ○濁水時には、宮川濁水調整協議会の調整などに基づくダムや発電所の運用を行っている。	○協定に基づき現在の運用を継続する。 ○濁水時には、濁水協議会での調整結果に基づく運用を行う。
4	三瀬谷ダムの工業用水 ○南伊勢工業用水道事業を廃止することとし、関係市町の同意を得ている。	○南伊勢工業用水道事業の廃止手続きを進め、三瀬谷ダムは発電専用ダムとして運用する。
5	森林環境の保全 ○甲が実施する森林環境創造事業に対して、乙は宮川ダム上流域等の県補助金額を負担している。	○甲が今後事業を継続していくために必要な財源が確保できるよう、一時金として対応することについて引き続き協議していく。
6	稚鮎の放流(三瀬谷ダム) ○三瀬谷ダム建設時に漁協と交換した覚書に基づき、補償として鮎放流に対する経費負担を行っている。	○覚書に基づき現在の補償を継続する。
7	三浦湾漁場環境の保全(濁水調整) ○宮川第一、第二発電所の濁水時の発電運用に関しては、協定に基づき、濁水時には発電を停止する運用を行っている。	○協定に基づき現在の運用を継続する。
8	三瀬谷ダムの流木除去 ○ダム運用に支障とならないよう、乙は必要に応じ流木除去を実施している。	○ダム運用に支障とならないよう、必要に応じ流木除去を継続する。
9	関連施設 ①三瀬谷ダム湖の漕艇場 ○三瀬谷ダムの湖面使用について、協定に基づきダム湖を漕艇場として開放している。	○協定に基づき現在の運用を継続する。
	②三瀬谷ダム堰堤の自動車通行 ○三瀬谷ダム堰堤が、自動車通行可能な地域住民の生活道路として利用できるよう、設備解放を行っている。	○協定に基づき現在の運用を継続する。
10	三瀬谷ダム下流の濁水対策 ○三瀬谷ダム下流の濁水の漁業への影響について、関係者から一定の対策を求められており、ダム管理者として今後の対応を検討している。	○関係者と調整した対策を継続する。
11	奥伊勢湖環境保全対策協議会への参画 ○奥伊勢湖環境保全対策協議会に参画している。	○参画継続について引き続き協議していく。

水力発電事業の譲渡価格の他県事例

(データは県聞き取りによる)

	広島	福島	和歌山	埼玉	青森	兵庫	福井	石川
施設数	1	4	3	6	1	1	7 (風力1)	7 (風力2)
施設能力(kW)	700	7,600	29,600	31,400	11,000	5,000	50,000 (1,800)	39,700 (3,600)
固定資産帳簿 価格(億円)※	2.1 (H13末)	45.2 (H15末)	84.8 (H15末)	42.8 (H18末)	15.7 (H19末)	7.2 (H20末)	86.0 (H19末)	82.0 (H19末)
企業債未償 還額(億円)※	1.5	34.7	46.5	23.4 (H17末)	5.4 (H19末)	3.2 (H20末)	23.9 (H19末)	23.4 (H19末)
譲渡価格 (税抜き) (億円)	0.3	29.5	42.5	23.6 (税込)	6.35	4.56	72 譲受応募 価格	71.35 譲受応募 価格
譲渡(目標) 年月日	H15.3.31	H17.3.31	H17.3.31	H20.3.31	H20.3.31	21年度末	21年度末 (目途)	21年度末
譲渡先 (交渉先)	中国電力	東星興業	関西電力	東京発電	東北電力	関西電力	北陸電力	北陸電力

※聞き取り結果のため、固定資産帳簿価格・企業債未償還額の年度は譲渡時期に対応しない。

2 木曾川水系連絡導水路事業について

1 事業の概要

- (1) 木曾川水系連絡導水路事業（以下「導水路事業」という。）は、木曾川水系における流水の正常な機能の維持及び利水の安定供給に資するため、徳山ダムに確保した渇水対策容量と利水容量を揖斐川から長良川、木曾川へ導水する事業です。
- (2) 平成 16 年「徳山ダムに関する三県一市副知事助役会議」において、中部地方整備局に対し、「三県一市と連携を図りながら導水路の早期の具体化に向けて検討を進めること」を要請しました。平成 20 年 3 月には、導水路事業が河川整備計画に位置づけられ、同年 8 月事業実施計画が認可されました。同年 9 月に事業は、国から(独)水資源機構に継承されました。
- (3) 事業完成の目標年度は平成 27 年度で、平成 20 年度から環境調査などを実施しています。

2 導水路の機能（資料 1、2、3）

(1) 治水（環境）

流水の正常な機能の維持を図るため、木曾成戸地点で約 40 m³/s の流水確保を目標に、木曾 3 ダム（阿木川ダム、味噌川ダム、新丸山ダム(建設中)）の残容量が 50% になった段階で、徳山ダムに確保した渇水対策容量 4,000 万 m³の水を利用して、16 m³/s を木曾川及び長良川に導水します。

※木曾成戸地点 40 m³/s とは、河川整備計画によって、異常渇水時の木曾川における流水の正常な機能の維持に関する目標として定めた数値。

(2) 利水

徳山ダムで開発した利水容量 4,700 万 m³の水を利用して、愛知県(上水 2.3 m³/s)及び名古屋市(上水 1.0 m³/s、工水 0.7 m³/s)の都市用水を最大 4 m³/s、取水施設のある木曾川に導水します。

3 事業費と三重県の負担

○総事業費：約 890 億円

・上流施設：約 880 億円（約 43 km）、下流施設：約 10 億円（約 1 km）

・治水分：約 583 億円、利水分：約 307 億円

○三重県負担：治水負担分 13 億 1 千万円、利水負担分 無（資料 4）

○年度事業費

- ・平成 20 年度：事業費 15 億円 (三重県負担 約 2, 290 万円) 測量, 調査設計
- ・平成 21 年度：事業費 18 億円 (三重県負担 約 2, 650 万円) 環境調査
- ・平成 22 年度(案)：事業費 5 億円 環境調査

4 三重県にとっての効果

平成 6 年度には、通常 $50 \text{ m}^3/\text{s}$ 以上の流水がある木曾川大堰下流では、流水がほとんどなくなりました。その結果、河口部にてシジミの大量斃死が発生しました。

木曾川より取水している北伊勢工業用水道においては、7 月から給水制限に入り、8 月には過去最大の 60% の給水制限を行いました。

また、沈静化しつつあった地盤沈下が、広範囲に進行しました。(資料 5)
今後導水路が利用されることにより、次のような効果が期待されます。

(1) 河川環境の改善

木曾 3 ダムの残容量が 50% になった段階で、導水することによって、木曾成戸地点 $40 \text{ m}^3/\text{s}$ の河川流量を確保し、木曾 3 ダムの貯水量の温存化が図られることから、既得用水の安定的な取水を図り、また、河川が本来持っている「漁業」や「塩害の防止」「動植物の保護」等の河川環境の改善が図られます。

(2) 取水制限の緩和

岩屋ダムに開発した水資源開発施設を利用した水道用水、工業用水における取水制限の緩和が期待されます。

(3) 地盤沈下の抑止

流水の正常な機能を維持し、既得用水の安定的な取水を図ることで、地下水位の低下を軽減し、地盤沈下を抑止する効果が期待されます。

5 本年度の状況

- (1) 名古屋市長が、5 月に導水路事業からの撤退を表明し、7 月 10 日には「三県一市副知事・副市長会議」にて問題点を議論しました。
- (2) 国土交通省は、10 月 9 日に「平成 21 年度におけるダム事業の進め方について」を発表し、新たな段階に入ることとなる工事の契約や用地の買収などは行わないという方針を示しました。これにより「調査・地元説明」の段階である導水路事業は、本年度予定していた「用地買収」の段階に入らないこととなりました。
- (3) 国土交通省は、12 月 3 日に「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」を開催し、本年夏頃までにダム事業の可否を判断する新たな基準の中間報告を行うと発表しました。

(4) 12月25日、政府の平成22年度予算案において、導水路事業は新たな基準に沿った検証対象事業に選定されました。

6 今後の対応

(1) 導水路事業は関係自治体合意のもと実施されてきた事業であり、国に対して事業の必要性及び事業の推進を訴えてまいります。

(2) 国において策定される新たな基準や、それによる検証過程等の状況を見極めながら、関係機関と対応について協議してまいります。

3 「^{うま}美し国おこし・三重」の取組について

座談会等開催実績(12月31日現在)

(単位:回数)

月	座談会	個別座談会	説明会等	合計	備考
1~3月	11	0	7	18	
4~6月	22	85	24	131	
7~9月	28	133	24	185	
10~12月	12	128	9	149	
計	73	346	64	483	

※ 個別座談会:グループごとに行う座談会

登録パートナーグループ一覧(H21年5月~12月登録分) ※ 市町別

累計:124団体

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
桑名市	くわな せんばづる ひろ かい 桑名の千羽鶴を広める会	桑名市	いなべ市、東員町、 四日市市、菟野町、 朝日町、川越町、鈴 鹿市、亀山市、松阪 市、伊勢市	観光振興、文化芸 術、教育、福祉、 総合的なまちづく り、祭り・イベント	教材にも使える、折り方を記した安価な 本をつくり、桑名市の無形文化財である 「桑名の千羽鶴」を国内外の多くの人た ち、特に子どもたちに伝えていく。	6月
桑名市	ぐるーぷマダム寿々 かい (おかみさんの会)	桑名市	—	観光振興、文化芸 術、総合的なまち づくり	桑名特産の「はまぐり」の貝殻を使った 桑名土産「まち雛」を作成しており、今後、 この活動を更なる地域の活性化につな げ、伊勢の国の玄関としての桑名をア ピールしていく。	6月
桑名市	たど ながく かい 多度雅楽会	桑名市	県外(東京都 他)	観光振興、文化芸 術、総合的なまち づくり、祭・イベント	桑名地方の雅楽は歴史も古く、古式に 則った舞楽会を復興し、春と秋に桑名六 華苑で定期演奏会を開催している。「美し 国三重」の文化を高める市民活動とし て、舞楽会の上演機会を拡大するととも に、童舞の普及継承事業等を通じて、会 員の拡大をめざしていく。	9月
桑名市	とていりえいし かつどうほうしん せき きんせん 特定非営利活動法人 木曾三川ごみ の会	桑名市	木曾岬町、東員町、 朝日町、県外(岐阜 県)	環境保全、景観形 成、海づくり、教育、 総合的なまちづくり、 祭り・イベント	木曾三川・員弁川流域を中心に清掃活 動を行うとともに、木曾川右岸の公園「水 辺の楽校」の管理を行っている。水辺の 遊び場、自然体験の場、自然学習の場 の提供を通じた地域住民に親しまれる公園 づくりを進めていく。	10月
桑名市	むぎき かい 桑竹会	桑名市	—	環境保全、森づくり、 産業振興	担い手不足を背景に荒廃化した竹林を 整備するとともに、伐採した竹に新たな価 値を付加する取組を進めることで、竹林 の自立・持続可能な管理の仕組みづくり を目指していく。	10月
いなべ市	みんなのクラブネットいなべ	いなべ市	—	教育、保健、福祉	県内のクラブ(いなべ市、菟野町、大台 町、紀宝町)の特徴を活かした総合型地 域スポーツクラブ「みんなのクラブネット」 を立ち上げ、「地域ネットワーク」による事 業の創出」に取り組む。これを県内外に 展開し、元気な三重県、元気な地域づく りに貢献していく。	6月
木曾岬町	ごたーげさん	木曾岬町	—	食、環境保全、産業 振興、教育	受け継がれてきた木曾岬ならではの郷土 料理や木曾岬町の特産物を使った新た なレシピづくりを行うとともに、田畑を地 域の集いの場と見立て、料理を通じた世 代間交流を行い、町おこしを展開していく。	10月
東員町	ちいき たす 地域お助けネット	東員町	—	教育、福祉	住民間に互助の精神を育み、その精神 を以て、住民の福祉の増進、生活環境 の改善などを目的とする活動を行い、住 みよいまちづくりをめざす。	7月
東員町	まつ かい 松の会	東員町	津市、県外(愛知県)	文化芸術	七世松本幸四郎丈の生誕地である東 員町において、「こども歌舞伎」の育成、 発表会の開催、歌舞伎公演の鑑賞、研 修及び講演会の実施等を行っていく。	8月
東員町	NPO法人 ほうしん なま 生ごみリサイクル思考 の会	東員町	桑名市、いなべ市	環境保全、総合的 なまちづくり	「ごみゼロ社会の実現」をミッションとし、 地域のゴミ減量の活動を行っている。住 民の環境への関心を高めることを目的 に、環境啓発、情報発信等の場として「エ コの館」を設置、運営しており、その集客 力を高める仕組みづくりを行う。	9月
東員町	とういんボランティア市民活動支援セ ンター運営委員会	東員町	—	食、環境保全、文化 芸術、教育、防災、 保健、福祉、総合的 なまちづくり、祭り・ イベント	東員町におけるボランティア・市民活動 の推進を図る中間支援組織として、今後 「美し国おこし・三重」を活用して、委員 のスキルアップを図るとともに、様々な 団体とのつながりを構築し、東員町を中 心に活動する地域活動団体から親しま れ、頼りにされるセンターとなることで 地域振興に寄与していく。	11月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
東員町	とういちょうしんしんしょうがいじやおや かい 東員町心身障害児者親の会	東員町	—	教育、保健、医療、福祉	障がい児者の保護者が、障がいを持つ子らが地域の中で幸せに生活できるように機会や場を設けていくことについて、一緒に考え互いに支えあう関係を築いていくため、懇親を目的としたバス旅行や福祉祭への参加などを行っている。今後は、幅広い年齢層を対象に、課題への対応を勉強する機会や、気軽に参加できる場を提供することで新規参加者に対する魅力づけを行い、会の継続性を高めていく。	12月
四日市市	しよく きんぎようすいしんきようぎかい みえの食と産業推進協議会	四日市市	—	食、産業振興、教育、保健	萬古焼をはじめとする地元の産業と協働して、地元食材を活用した商品開発を行い、地域産業の活性化を図るとともに、食育の推進や医食同源等の取組を展開していくなど、食を切り口として県内の様々な団体と連携することにより、地域活性化・地域のまちづくりに取り組む。	8月
四日市市	みえ 三重・とらいあぐる	四日市市	県外(国内の商店街活性化の課題を抱える地域)	食、産業振興、観光振興、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(一、二、三次産業支援)	「中心市街地活性化」、「地産地消」、「地域福祉」を連携させた新たな形で地域活性化に取り組む。	8月
四日市市	がいうず ちゆめじつげん GUY'S『夢実現』	四日市市	—	産業振興、総合的なまちづくり、祭り・イベント	四日市を活性化し、三重県全域を元気にしていくため、「就活応援バザール」を開催するなど、若者に地元で働くことの素晴らしさを伝え、若者が元気に働き、将来に夢が描ける四日市をつくっていくことで、地域振興、産業振興を図るとともに、若者の地元愛を育み、地域の絆を深める取組を行っていく。	9月
四日市市	よっかいち ちいばい ほんぶつかんすいしんかい 四日市地域まちかど博物館推進委員会	四日市市	菟野町、朝日町、川越町	総合的なまちづくり	自慢のコレクションや、職人技、伝統産業など、地域が育んださまざまな文化資産を、「四日市地域まちかど博物館」として広く紹介するとともに、訪れる人と館長とのあたたかい交流の場を通じて、気軽に文化に触れることのできる身近なネットワークをつくることで、地域を元気にする取組を進めていく。	11月
四日市市	おかやま かい グリーンパーク岡山を愛する会	四日市市	—	環境保全、景観形成、森づくり	地域の里山である岡山を、地区住民自らがそのあり方を考え、整備していくことにより、住民同士の交流を図り、明るく楽しい地域づくりを実践していく。	12月
四日市市	とくてい ひえいり かつどうほうしん 特定非営利活動法人サンライズ・魂	四日市市	—	産業振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント	「三重県市民文化作品展」等の開催を通じて、文化活動に取り組む人々が、楽しみや生きがいを持ちながら活動を継続できるよう支援していく。また、講演・ワークショップ等の開催を通じて、参加者同士のネットワーク化を図り、活力ある地域社会づくりに寄与していく。	12月
四日市市	よっかいち ちいばい まるごと四日市地域ブランド	四日市市	—	食、文化芸術、産業振興、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(地域ブランド)	四日市の“すごい”を、四日市ブランドとして認定し、それらを使った料理をつくるなど、四日市の文化をかたちにしていく活動に取り組むとともに、“すごいやんねえ、よっかいち”を合い言葉に、“ほんまに美しいまち四日市”にありがとうの言葉を添えて、四日市の“すご〜い”を全国に発信していくことで、四日市の活性化を図っていく。	12月
菟野町	いきいきサロン大羽根	菟野町	—	食、文化芸術、防災、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	高齢者支援、地域防災活動、子育て支援等、子どもから高齢者まで幅広く対象とした活動を展開し、地域でのボランティア活動を通じて、豊かな人間関係と住民同士がお互いに支え合い、つながりある地域づくりをめざしていく。	10月
朝日町	はちおうじまつりしんこうかい 八王子祭振興会	朝日町	—	祭り・イベント	約300年の歴史があり、朝日町の無形文化財に指定されている八王子祭の継承を通じて、中学生・高校生を中心とした次世代育成を行うとともに、地域おこしに取り組んでいく。	6月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
川越町	豊田ホタルを育てよう会	川越町	—	環境保全、景観形成、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	川越町を流れる小川に、幻想的な光跡を残し飛び交うホタルをよみがえらせるため、自然環境の保全活動に取り組むとともに、幼虫の放流会や飛翔観察会等を通じて、まちづくりネットワークを広げ、地域力の向上を図っていく。	9月
鈴鹿市	縁側サミット	鈴鹿市	伊勢市、熊野市	総合的なまちづくり	古布を使用して人形用のミニ着物等を製作し、鈴鹿市の姉妹都市ベルフォンテン、東南アジア・ヨーロッパ等で展示及び国際交流をしていく。	8月
鈴鹿市	NPO ドリーム21	鈴鹿市	四日市市、亀山市	産業振興、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり	「街並み・あかりアート展」や「ヤマトタケルを巡る旅」を実施して、郷土に眠っている歴史の再発見と、地域の固有伝統産業を融合したまちおこしをしていく。	8月
鈴鹿市	災害ボランティアネットワーク鈴鹿	鈴鹿市	桑名市、いなべ市、東員町、四日市市、菟野町、川越町、亀山市、津市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町、県外(愛知県、奈良県、滋賀県等)	防災、その他(防災を通じたまちづくり)	次世代につなぐ防災教育・防災啓発を行う組織であり、三重県内における先駆者として活動してきた。今年度は、答志島など地震体験車が来たことのない地で防災啓発を行うなどの取組を行っており、こういった場を通して、防災に関わる人材の育成を進めていく。	10月
鈴鹿市	鈴鹿市植木振興会	鈴鹿市	—	産業振興、祭り・イベント	植木業界は、全国的には後継者問題が深刻となっているが、本市では、後継者が多数育っており、さらなる植木の発展をめざして活動している。今後は、「鈴鹿市植木まつり」を継続することで、植木の普及と産地振興を図るとともに、地域の活力づくりにつなげていく。	10月
鈴鹿市	大くすファーム	鈴鹿市	—	食、環境保全、景観形成、観光振興、教育、祭り・イベント	三重県の指定文化財になっている「長太の大くす」の周辺の菜園を中心として、地元農家や定年退職者と連携して、新鮮な野菜などを販売する直売所を開設し、広域的に人が集まる場所づくりを計画しており、地産地消による地域活性化に取り組んでいく。	11月
鈴鹿市	鈴鹿花卉温室組合	鈴鹿市	四日市市、亀山市	景観形成、産業振興、観光振興、祭り・イベント	洋ラン、観葉植物、切りバラ等の生産・研究を行うだけでなく、F1やバルーンフェスタをはじめ、市内・県内のイベントに出展・協力し、親子植栽体験教室を実施するなど花卉普及活動を通じて、花卉のある豊かな生活を住民に提案し、地域の活性化に寄与していく。	11月
亀山市	かめやま温暖化防止サークル	亀山市	—	環境保全	地球温暖化防止策の啓蒙、遊び・工作を通じた子どもたちへの技術の伝承、中高年の社会貢献による生きがいづくりを目的に、小中学校への出前講座などを実施する。	6月
亀山市	うぐいすの森(人と森の調和)	亀山市	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、菟野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町、県外(大阪府、京都府、滋賀県)	食、環境保全、景観形成、森づくり、文化芸術、教育、総合的なまちづくり	人間だけが豊かになるのではなく、動物や小鳥なども豊かに楽しい日々をおくれるようなまちづくりを目標に、文学と花に彩られた「万葉の森さんぽみち」をつくり、本物の歴史と文化のまちをつくりあげていく。	6月
亀山市	アートによる街づくりを考える会	亀山市	—	文化芸術、総合的なまちづくり	商店街・市民が、アートによってまちを変えていこうとするきっかけとするため、平成20年度に開催した「亀山・商店街 inARTアートフォーラム三重2008」を、一過性に終わらせることなく継続させ、まちの活性化につなげていく。	6月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
亀山市	かい ぽっかぽかの会	亀山市	—	福祉	障がい者が働く喫茶店をつくり、障がい者が社会と繋がる場を提供するとともに、その保護者も含めて情報交換が行える場をつくっていく。	6月
亀山市	だいく あい かい 「第九」を愛する会	亀山市	—	文化芸術	ベートーヴェンの「第九」を楽しく歌い、県内の文化の向上に寄与するとともに、クラシック音楽を中心に、さまざまな取り組みと連携して地域に貢献していく。	6月
亀山市	げきだん かめ 劇団「CAME」	亀山市	—	文化芸術、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	亀山唯一のミュージカル団体として古くから伝わるヤマトタケルの「白鳥伝説」をモチーフにした創作ミュージカルを上演している。ミュージカルを通して亀山の伝説を継承し、また、子供から大人まで参加することで世代間交流を進める。	7月
亀山市	かめやましょくさいてんがかい 亀山食の祭典部会	亀山市	—	食、産業振興、観光振興、総合的なまちづくり、祭り・イベント	市内で生産された食材を加工し、亀山のグルメを創出するとともに市内外の食に関わるベンチャー企業にPRの場を提供することで、食を通しての地域活性化をめざす。	8月
亀山市	かくめいぶつかめやま や 隠れ名物亀山みそ焼きうどんB級 しか かつどう かい グルメ仕掛け活動の会	亀山市	—	食、総合的なまちづくり	亀山市内の飲食店組合と連携して、みそ焼きうどんを亀山のB級グルメとして確立し、食を通しての地域活性化をめざす。	8月
津市	とくていひえいりかつどうほうじん みえ 特定非営利活動法人 三重ドリームクラブ	津市	四日市市、鈴鹿市、松阪市、伊勢市、伊賀市、県外(岐阜県、滋賀県、愛知県)	総合的なまちづくり、祭り・イベント	着ぐるみの「とらまる」を活用して、様々なイベントへ参加し藤堂高虎公をアピールしているほか、手作り甲冑教室を開催している。地域に伝わる祭りや催し等に、手作りの甲冑や「とらまる」で参加するなど、地域の活性化に取り組む。	8月
津市	げいのうまちづくり協議会	津市	—	環境保全、文化芸術、教育、防災、保健、福祉、総合的なまちづくり	「安心・安全」「環境」「広報・研究」「学び」の5つの部会を基に、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という信念を持って、芸濃地区に住む住民にとって、さらに住みよい、希望のもてる、魅力ある「まち」(地域)を築くための活動に取り組んでいく。	10月
津市	キバヤシレコード	津市	四日市市、鈴鹿市、亀山市、松阪市	総合的なまちづくり、祭り・イベント	老人ホームや介護施設でのコンサートなど、音楽を通じたボランティア活動に取り組んでいる。今後は、イベントなど、様々な分野で地域おこしの活動をしているグループとの連携をはかることにより、さらなる地域の活性化に取り組んでいく。	12月
津市	たいよう かせ ふう 太陽と風の道づくり	津市	松阪市、明和町、伊勢市、鳥羽市、県外(奈良、大阪、兵庫)	環境保全、景観形成、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(地域交流)	俱留尊山(くろそやま)の麓の池の平湿原を復活させるための取組や、美杉町太郎生地域を通る「太陽の道」「レイライン」を活用した地域情報の発信と交流等の活動を通じて、地域の活性化に取り組んでいく。	12月
津市	みえ ぶんか かりがけ ぱーたなーず 三重の文化力 放送パートナーズ	三重県全域	日本国内、米国	産業振興、観光振興、文化芸術、教育、健康、医療、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(県内文化クリエイターのPR)	三重の文化や伝統、自然や特産品、音楽活動や健康促進の活動を行っている人などを取材し、それら地域の情報をインターネット等で広く国内外に発信することにより、三重県内各地の魅力やPRし、それぞれの地域の活性化に寄与していく。	12月
松阪市	がもう うじさとこうけんしょうかい 蒲生氏郷公顕彰会	松阪市	県外(滋賀県、福島県)	観光振興、文化芸術、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	松阪開府の祖である蒲生氏郷公の足跡の探求・顕彰、さらには市民の郷土意識の高揚と他地域との友好・交流を通じて、歴史・文化遺産を活かしたまちづくりを進める。	8月
松阪市	オノマカブ・レーベル	松阪市	津市、県外	観光振興、文化芸術、教育、福祉、総合的なまちづくり	障がいのあるミュージシャンなど、異才あるマイノリティミュージシャンが活動する場を創出することにより、音楽によるまちづくりを進める。	8月
松阪市	ヒューマンエレメント	松阪市	津市、県外(東京都)	観光振興、文化芸術、教育、福祉、総合的なまちづくり	障がいのあるアーティストなど、異才あるマイノリティアーティストが活動する場を創出することにより、芸術によるまちづくりを進める。	8月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
松阪市	はぜ きょうぎかいとくきんぶかい 波瀬むらづくり協議会特産部会	松阪市	—	食、景観形成、産業振興、観光振興、総合的なまちづくり	クレソンをはじめとする波瀬地区の特産品に付加価値を付け、販路を拡大することにより、地域の活性化に取り組む。	8月
松阪市	きこころ 喜心	松阪市	多気町、明和町、伊勢市	食、環境保全、福祉	タケノコ及び地域でとれる野菜を加工、販売することにより、山林の保全、高齢者の雇用を進め、地域の活性化を図るとともに、EM石けんを活用した環境保全に取り組んでいく。	9月
松阪市	ほうじん なま 生ゴミリサイクル かめ NPO法人 の家 亀さん	松阪市	明和町	食、環境保全	地域の住民とともに生ゴミを堆肥化し、その堆肥で育てた有機野菜の販売等を行うことにより、高齢者の生きがいづくりや地域の活性化を進めていく。	11月
多気町	たきちょう しかけにんじゆく 多気町まちづくり仕掛人塾	多気町	—	食、環境保全、景観形成、産業振興、観光振興、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	地域の人、自然、産業、歴史、文化、名所旧跡といった財産を調査し、地域が良くなると思う仕掛けについて検討を行うとともに、その実現に向けて活動し、地域の活性化に取り組む。	7月
多気町	かんきょう ちきゆうごう たき環境くらぶ“竹遊号”	多気町	—	環境保全、森づくり、総合的なまちづくり、祭り・イベント	住民で整備した公園「クリスタルの森」を拠点に、住民、企業、学校、各種団体等が協力してこの公園を管理するとともに、公園を活用した環境活動を展開し、“環境”による地域づくりを進める。	8月
明和町	おおよど 大淀ビーチクリーン	明和町	松阪市、伊勢市	環境保全、景観形成、海づくり、産業振興、観光振興、祭り・イベント	海岸清掃を通じて、環境保全の意識を向上させるとともに、世代を超えた付き合いができる場所をつくり、地元愛を育む。	6月
明和町	めいわぼうさい 明和防災ボランティアグループ・プラス1	明和町	—	防災	防災タウンウォッチング、防災に関する講演会、県内及び県外の防災ボランティアとの交流会などを実施し、住民への防災知識の普及をはかる。	7月
明和町	たけ みやこ・めいわ のうぎょうせいさんけんきゆう かい 「竹の都・明和」農業生産研究会	明和町	松阪市、多気町、大台町、伊勢市、玉城町	食、環境保全、景観形成、産業振興	自然循環資材の再生利用や生ゴミ堆肥製造・有効利用により、農地の土壌改良やそこで栽培した有機農作物の販路拡大を通じて、まちおこしを進める。	7月
明和町	フリーズ FREEZE	明和町	四日市市、津市、松阪市、明和町、大台町、伊勢市	文化芸術、祭り・イベント	子どもから大人まで世代を超えた音楽好きが集まって、協同作業や交流を行うことにより、地域の活性化に取り組む。	8月
明和町	ちくめいし 竹茗舎	明和町	—	観光振興、文化芸術、教育、その他(まちかど博物館申請予定)	まちかど博物館「竹茗舎」を設置・運営し、地域が主体となって「竹の文化」を町内外に発信するとともに、これを次世代の子どもたちに伝承していく。	11月
明和町	こんぶだん かがやく 魂舞団・輝風	明和町	四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、多気町、大台町、伊勢市、志摩市、玉城町、度会町、県外(名古屋市)	文化芸術、祭り・イベント	よさこいソーランなどの踊りをイベントや祭りなどで披露するとともに、みんなで気軽に踊ることの楽しさを小中学校で教えることにより、地域の連帯感を高め、活性化に寄与していく。	12月
明和町	はな やさい ちきゆういん 花と野菜の直売店 サン	明和町	松阪市、伊勢市	食、環境保全、産業振興	安全で安心して食べることができる野菜やその地域ならではの花を生産・販売し、地産地消の取組に寄与するとともに、地域の子もたちに土に触れ農作物を収穫する体験を通して食の大切さなどを教えていくことにより、地域の活性化に取り組んでいく。	12月
明和町	めいわ おんどう ぼんごんかい 明和音頭保存会	明和町	松阪市、伊勢市	文化芸術、祭り・イベント	明和音頭をイベントや祭り、文化祭などで披露するとともに、町内各地においてその保存と継承のための活動を行うことにより、地域の連帯感を高め、活性化に寄与していく。	12月
大台町	がんばれ おおだい 大台	大台町	—	環境保全、森づくり、産業振興、防災	山村の衰退により放置される山を企業等の賛同を得て手入れすることにより、災害の未然防止、CO2の削減、雇用の場の提供、人づくりに取り組む。	8月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
伊勢市	いしよくどうげんみえ 医食同源みえ	伊勢市	四日市市、鈴鹿市、 亀山市、津市、松阪 市、多気町、明和 町、大台町、鳥羽 市、志摩市、玉城 町、度会町、大紀 町、南伊勢町、伊賀 市、尾鷲市、紀北 町、熊野市	食、産業振興、観 光振興、保健、医 療、福祉、総合的 なまちづくり、祭り ・イベント	三重県の統合医療推進の一環として、 伝統的な医療(鍼灸・漢方)、薬草、食 育、健康ツーリズム等、相補代替医療の 研究・啓蒙及びそこから派生する事業を 育てていく。	5月
伊勢市	あさき さんかく ほな さかい 朝熊山麓に花を咲かす会	伊勢市	—	環境保全、景観形 成、観光振興	伊勢の観光名所となる花園づくりを通し て、心豊かな子どもを育むとともに、地 域の発展と活性化に貢献すべく、県営サ ンアリーナ花の広場周辺に、花ももの苗木 1,000本を地域の皆さんや子どもたちと一 緒に植樹し、伊勢地域に新たな魅力ある 花の名所をつくる活動を進めていく。	9月
伊勢市	いすずがわ 五十鈴川をきれいにする会	伊勢市	—	環境保全、景観形 成、教育	神宮林から流れる美しい水を通して身近 なところにある自然環境を知り、ごみ拾 い、水生生物観察会、エコウォークなど により、水との地理的・社会的・心理的 距離を縮め、未来へとつなげていく。	9月
伊勢市	みえけん いせ ちやうりし せうかい かくさう りやう 三重県伊勢調理師協会 薬草料理 研究会	伊勢市	—	食、観光振興、保 健、総合的なまち づくり	日本の「こころ」のふるさと「伊勢」にお いて、東洋医学の「医食同源」の理の基 に、疲労回復・滋養強壮等に良いとされ る天然資源の薬草・海藻等を数多く使 用し、「食養」を旨とした献立づくりを行 う。「伊勢に来て心も体も健康になら う」をスローガンに、誘客に結び付け ていく。	9月
伊勢市	きののうらむ 楽農村	伊勢市	—	食、景観形成、森 づくり、観光振興、 文化芸術、教育、 福祉、総合的なま ちづくり、祭り・イ ベント	本業をもちながら余暇を活用して、新 しい形で畜産をやりたい人、農業に興 味のある人、里山で露天風呂のある旅 館を営みたい人などが集まり、地域の中 の限界集落を、現在あるものを最大限 利用して盛り上げる取組を進めていく。	9月
伊勢市	いせ 伊勢みやげ研究会	伊勢市	四日市市、津市、鳥 羽市、尾鷲市	食、産業振興、観 光振興、文化芸術、 総合的なまちづくり、 祭り・イベント	三重県の土、石、木、食材を検討し、 伊勢の風土に基づく新たなお土産商品 の研究、開発、販売に取り組み、国内 外に情報発信していく。	11月
伊勢市	てんか いち ぶら かくてい いんかい 天下一 武道会実行委員会	伊勢市	津市、松阪市、多 気町、明和町、鳥 羽市、志摩市、玉 城町、度会町、大 紀町	観光振興、保健、 祭り・イベント	地域のグループなどを対象に、「地域活 性！新感覚エンターテインメント」を テーマとした交流イベント等を開催す ること、スポーツ・レクリエーションを 通じた地域の新たな交流の場づくり を行い、地域活性化に寄与していく。	11月
伊勢市	いせしま 伊勢志摩おもてなしの会	伊勢市	鳥羽市、志摩市、 県外(大阪、名古屋、 東京)	産業振興、観光振 興、祭り・イベント	伊勢志摩を訪れた人にご満足いただける ように、最高のおもてなしを提供する 「伊勢なでしこ」を組織し、伊勢市駅前 で観光客のご案内やまちづくりイベ ント時の接客などを行っている。今 後は、「おもてなし学校」などの取 組を通じて、「おもてなしの心」を 発信し続けることで、さらに地 域に貢献していく。	12月
鳥羽市	あさき ぶかい 麻生の浦会	鳥羽市	—	食、産業振興、観 光振興、防災、保 健、総合的なまち づくり	朝市の開催を通じて、地域住民が楽 しみながら多様な活動に参加する 総合的な地域づくりをめざし、ひ いては地域の活性化につなげるこ とを目標としている。若者の勤 く場としての農業・漁業を魅力的 なものとし、従事者の若返りをめ ざしていく。	9月
鳥羽市	とば 鳥羽まちなみ水族館	鳥羽市	—	海づくり、観光振 興、文化芸術、教 育	「数ある観光地の中から鳥羽を選ん でいただきありがとうございます」と の気持ちをおもてなしという形で表 し、環境問題を考えながら、子 どもたちと一緒に流木等の海の ゴミを活用した海の生き物の作 品づくりと展示を行っていく。	9月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
鳥羽市	みづこひの森サークル	鳥羽市	南伊勢町、紀北町	環境保全、海づくり	漁業者による海の植林活動を支援するとともに、自然環境にやさしく、人の手で育める環境再生をいろいろの人と一緒に実施している。これらの取組を、三重県から全国に発信していくとともに、海の森を未来に届ける活動を進めていく。	10月
志摩市	わぐうみんちゆのかい 和具海人の会	志摩市	—	海づくり、産業振興	環境問題への取組などを通じて、漁師の経験、知恵、風習、漁村文化の情報発信、他地域との交流、地元魚介類のブランド化などに取り組み、地域、水産業おこしを進める。	5月
志摩市	しまげんきかい 志摩を元気にしよう会	志摩市	—	環境保全、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	音楽祭などのイベントを通じて情報発信を行うとともに、その機会を活用しての起業化や就労体験などの支援を行い、青少年が将来に夢を描ける地域づくりをめざす。	7月
志摩市	しまじっこういんかい 志摩レンジャー実行委員会	志摩市	—	環境保全、観光振興、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	イベント等において、志摩市5町の名産名所をモデルにしたローカルヒーローと悪役アカシオンとで寸劇を演じることで、志摩地方のよさを情報発信していく。	8月
志摩市	しまこんぶプロジェクト	志摩市	—	食、環境保全、海づくり、産業振興、総合的なまちづくり	環境保全活動のひとつとして、実験的にこんぶ養殖に取り組む。セミナーや勉強会を積極的にに行い、また多様な団体と連携することにより、活動の輪を広げていく。	8月
志摩市	いさべがくあつぱれくらぶ 磯部楽打天晴倶楽部	志摩市	伊勢市	文化芸術、教育	400年前から伝承されてきた磯部太鼓を、次の世代へ継承していく。多様な披露の機会を通じて、子どもたちが情操や感性を育み、表現力を培うことに寄与する。チーム編成を行って新磯部太鼓を創出することで、地域の活性化の一翼を担っていく。	9月
志摩市	しますいざんけんきゅうかい 志摩水産研究会	志摩市	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、菟野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町	環境保全、森づくり、海づくり、産業振興	バイオ技術を使って地域の海や森の環境保全を行いながら、藻場、あわび、昆布、陸上養殖などの関連製品の生産・販売を行うことにより、地域のブランド力を高め、地域活性化につなげていく。	9月
志摩市	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 TEAM笑美 S	志摩市	東員町、鈴鹿市、南伊勢町、名張市、尾鷲市、県外(宮城県)	環境保全、産業振興、観光振興、福祉、祭り・イベント	個人事業主と障がい者とNPOとの連携をもって、新しい雇用スタイルを創造する。現在実践中の雇用形態を、多様な業種に広げていく。	9月
志摩市	あいらぶ・カー I LOVE YOU	志摩市	—	文化芸術、祭り・イベント	音楽を通じた青少年育成への貢献をめざし、子どもたちと一緒に音楽活動をしている。その中で、将来地元に残り、同じ思いで活動してくれる人材が育ち、ひいては地域の活性化につながる活動をめざしていく。	9月
志摩市	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 Peace ワーカーズ Workers	志摩市	南伊勢町	福祉、総合的なまちづくり	多様な主体と連携して、障がいのある人が「移住したい」と思えるような福祉環境の充実した志摩市をめざしていく。	9月
玉城町	さんくうぎかくし 参宮ブランド『擬革紙』の会	玉城町	松阪市、明和町、伊勢市	環境保全、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、その他(歴史文化的産業復興)	江戸時代から昭和初期まで、伊勢地方一円で生産されていた「擬革紙」の復興を通して、文化的に高く評価されてきたこの地方のかつての工業技術力の証として、また、文化力立県のシンボルのひとつとして、広く情報発信していく。	6月
玉城町	さとやまやくしよくじやく 里山薬食塾 しえあわせ	玉城町	松阪市、多気町、明和町、伊勢市	食、環境保全、森づくり、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、防災、医療、福祉、祭り・イベント	畑付きの里山古民家「鶯櫻庵(おうおうあん)」を中心に、食農教育を通じて子どもたちに体験型の食育を行うとともに、日本古来の知恵や日本の文化を正しく伝承する自然塾を開催する。	6月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
玉城町	美し国ツアーズ	玉城町	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、朝日町、川越町、菟野町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会町、大紀町、南伊勢町、名張市、伊賀市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町、県外	食、産業振興、観光振興、総合的なまちづくり、その他(グループのネットワーク化)	観光業の知識を活かして、それぞれのグループが行っている活動をつなぎ、それらを含めた「美し国」ツアーを企画・実施し、地域の活性化につなげていく。	10月
度会町	みなみなかむらめいしよきゆうせきまもかい 南中村の名所旧跡を守る会	度会町	—	景観形成、観光振興、教育、その他(伝統財等保護)	「おうむ石(いわ)」「南勢新四国八十八箇所」など地域で守ってきた名所旧跡がたくさんあるが、こうした度会町の歴史・文化・自然のすばらしさを、民の立場で発信し、地域活性化の一翼を担う。	8月
度会町	おとめいわまもかい 乙女岩を守る会	度会町	—	景観形成、観光振興、教育、その他(伝統財等保護)	「乙女岩」をはじめとする歴史的文化的資産を守り、継続していくことを通じて、地域の活性化を図り、健康で文化的な地域共同社会の発展に寄与することをめざす。	8月
伊賀市	いがしまがはら 伊賀・島ヶ原おかみさんの会「夢の道」グループ	伊賀市	—	食	おもてなしの心を軸として、島ヶ原の良さを発信するために、NPO法人「伊賀・島ヶ原おかみさんの会」で運営している喫茶軽食「夢の道」において、地産地消をモットーに安心安全の食材で手づくり「おかみさん膳」を提供している。風土を生かした新たなメニューを開発し、集客交流を図っていく。	9月
伊賀市	とくいでいひえいり 特定非営利活動法人 ユニバーサルデザイン同夢	伊賀市	四日市市、津市、名張市	教育、防災、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	すべての人が共に支え合って暮らすことのできるユニバーサルデザインのまちづくりをめざす活動で培ったノウハウを、各種の団体が開催する「イベント」の運営に活かすことにより、地域社会に貢献していく。	10月
伊賀市	ライブキャンプ実行委員会 せいらんせいの 青少年の居場所「管家」	伊賀市	津市、名張市	文化芸術、教育、祭り・イベント	ジャンルにこだわらずライブ活動を行う人を広くサポートすることによって音楽を通じた世代間・国際間の交流、青少年の健全育成を図るとともに、セミナーを開催し音楽技術と精神面での向上を図っていく。併せて、情報発信を活発化することにより、集客交流にもつなげていく。	10月
伊賀市	ほんひとこうりゆう 本と人の交流の館 — 陽だまり文庫	伊賀市	名張市	文化芸術、教育、福祉、総合的なまちづくり	地域文庫を地域のサロンの場として運営していく中で、子どもたちのことを地域の大人たちが考えていく場や、子育てに関係する団体等のネットワークづくりの場となるような活動をめざし、「子どもたちがのびのび暮らせる地域」づくりに取り組んでいく。	11月
伊賀市	いごう いが移動送迎連絡会	伊賀市	名張市	医療、福祉、総合的なまちづくり	高齢者や障がいのある方をはじめとする移動制約者への日常生活の移動支援を行うために、福祉有償輸送団体などのネットワーク化や地域公共交通に関する調査研究等を行い、安定した送迎手段の確立をめざしていく。	12月
名張市	らんぼくら 乱歩蔵びらきの会	名張市	—	文化芸術、教育、祭り・イベント	江戸川乱歩の生誕地である名張における顕彰を原点として、市民、とりわけ小学生・中学生に乱歩作品に親しんでもらい、それを通じて乱歩が生まれたわが町・名張を誇りに思う市民を増やしていく。	7月
尾鷲市	のうじせいさんじゆくむかい 農事生産塾「向井の里」	尾鷲市	—	食、環境保全、景観形成、産業振興、観光振興、祭り・イベント	農業生産性向上の研究と経営、農産物加工食品の開発と販売、休耕田の活用と生産者増に取組み、地区全体を巻き込んだ活動へと発展させていく。	6月
尾鷲市	こくじ 刻字グループ「でくのぼう会」	尾鷲市	津市、紀北町、熊野市、御浜町	文化芸術、教育、総合的なまちづくり	刻字の体験、イベント等を通じて、地域の活性化や、連携を図ることを目的に、イベントへの出展、他団体のイベントとの連携等を実施する。	7月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
尾鷲市	は葉っぱがドクター	尾鷲市	紀北町、熊野市	食、環境保全、森づくり、産業振興	食と健康をキーワードに、地域資源を活かした食のブランド化と、幅広い年代による体験交流プランの創出を図る。	7月
尾鷲市	へのへのもへ座	尾鷲市	紀北町	文化芸術、教育、福祉、総合的なまちづくり、祭り・イベント	イベントを通じて、会員も周りの人も楽しめることをめざし、老人ホームの慰問、各種イベント時の出展等、地域のにぎわいづくりを行ってきた。今後、地域の民話にちなんで「オコゼ」の絵本の作成や情報発信で尾鷲を全国に売り出していく。	9月
尾鷲市	ひがし 紀州 コミュニティデザインセンター	尾鷲市	紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町	環境保全、産業振興、観光振興、文化芸術、防災、総合的なまちづくり、祭り・イベント、その他(中間支援)	地域コミュニティの中間支援センターをめざして設立し、ゴミナビゲートやチャレンジショップ等においてその役割を担ってきた。今後は、人材確保及び育成にも取り組んでいく。	10月
尾鷲市	NPO法人 天満浦百人会	尾鷲市	紀北町	食、産業振興、総合的なまちづくり、祭り・イベント	「天満浦から尾鷲をにぎやかにする」を目的に、ランチバイキング、食の伝承、体験、地域の産品を利用した特産品づくり等の活動を行ってきた。今後は、これらの活動を通じて、古民家(天満荘)を拠点とした地域おこしをめざしていく。	10月
尾鷲市	ひのっく Hinokku	尾鷲市	紀北町	環境保全、森づくり、産業振興、文化芸術、防災、総合的なまちづくり、祭り・イベント	尾鷲ヒノキの間伐材や端材を使って木工品を作ったり、木工教室を開催することにより、木の魅力を発信するとともに、環境保全教育や森づくりにつなげる取組を行っていく。	11月
紀北町	NPO法人 ふるさと企画舎	紀北町	—	環境保全、観光振興	「人・自然・歴史・文化」という地域資源の持つ可能性を生かし、体験を通じて地域の魅力を伝えることにより、地域住民や来訪者がともに当地域を大切な「ふるさと」と感じるまちづくりをすすめる。	6月
紀北町	みやまのこどう 海山熊野古道の会	紀北町	—	環境保全、景観形成、観光振興	熊野古道に関する調査・維持・案内等の奉仕活動を行うとともに、熊野古道の周知に努め、熊野古道を活用したまちづくりをすすめる。	6月
紀北町	しもごうち さとやま まも かい 下河内の里山を守る会	紀北町	—	食、環境保全、景観形成、観光振興、祭り・イベント	地元の農産物とそば打ちの技術を活かした農家レストランと農産物直売所の整備、下河内ならではの体験活動を通じて、都市部との交流を促進し、人材及び後継者の確保をはかる。	6月
紀北町	こどう うお あるかんかい 古道魚まち歩観会	紀北町	—	食、産業振興、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり	昔ながらの漁村の風景を残す魚まちなみを保全し、そこに伝わる漁業・文化・民話などを後世に伝えていくとともに、熊野古道を歩く観光客を魚まちに誘導して魚まちなみのすばらしさを伝え、地域活性化をはかる。	6月
紀北町	て 手づくり工房・ワイワイ	紀北町	—	観光振興、文化芸術、福祉、総合的なまちづくり、その他(製作、販売)	古布、古紙を再利用した生活用品を製作することで、中高年の人たちがものづくりを通じて長く社会との関わりを持ち続けることを支援する。	6月
紀北町	こうりゆうかん 交流空間みやま	紀北町	—	景観形成、観光振興、総合的なまちづくり	集客拠点となっている熊野古道馬越峠に加えて、銚子川流域に「権兵衛の桜」という名所をつくり、町内の他の地域資源と連携させることにより、銚子川流域の魅力を情報発信し、集客交流に繋げていく。	6月
紀北町	ゆうゆう きみか さと 悠遊くかん木海香の里	紀北町	尾鷲市	環境保全、産業振興、観光振興、保健、福祉、総合的なまちづくり	豊かな環境の保護・保全活動に取り組むとともに、地場産業に携わる人々などの知恵、技術を生かして、都市住民との滞在型交流体験事業等を進め、地域社会の活性化といやしの里づくりをめざす。	7月
紀北町	ながしまえきまえたまちくっせいかい 長島駅前玉地区活性化委員会	紀北町	—	景観形成、総合的なまちづくり	高速道路延伸による紀伊長島地域の入り口となる「町道長島駅山本線沿線」の景観を美化し、来訪者のお出迎えエリアとなるよう整備する。	7月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
紀北町	おくがわ 奥川ファーム	紀北町	大紀町	食、環境保全、景観形成、海づくり、産業振興、観光振興、教育、総合的なまちづくり、その他(観光農業)	1軒の農家を100世帯が支えることで、専業農家が成り立つしくみを作ることを目標とし、体験を通して顔の見える農業を行うことにより、都会の人々とのつながりを広げていく。	8月
紀北町	きほくのうぶどうしや かい 紀北農業者の会	紀北町	尾鷲市	食、産業振興、総合的なまちづくり	地域の農家のやりがい、生きがいづくりをめざし、地産地消を目標に「農産物の直販所」を開設した。農業生産者と消費者とのふれあい交流の場として、顔の見えるつながりができる店をめざしていく。	9月
紀北町	うみ 海守り	紀北町	—	環境保全	海の磯焼け対策として、地元での環境再生の取組(さかなたちの森づくり・藻場造成)を通して、広く町の人々や漁業者の意識の向上を図っていく。	9月
紀北町	きほくのきょうしき い 紀北の郷土食を生かした弁当開発グループ	紀北町	尾鷲市	食、産業振興、観光振興	紀北地域でしか食べられない食材を使って、郷土食をアレンジした弁当を開発する。地元の農家や漁業者と連携し、熊野古道を訪れる観光客向けの弁当開発により、地域の活性化や観光振興につなげていく。	11月
紀北町	かてい ひんいりつ かつどう ほうしん 特定非営利活動法人 ア・ピース・ オプ・コスモス	紀北町	津市、尾鷲市	食、景観形成、産業振興、文化芸術、教育、総合的なまちづくり	古民家を取得・改修し、田舎における豊かな暮らしを発信する生活体験施設として活用するなど、地域の豊かな自然、歴史、文化を継承し、その良さを伝える活動に取り組んでいく。	11月
紀北町	げんき なふるさと づくり じち 元気なふるさと村づくり塾	紀北町	—	食、景観形成、観光振興、総合的なまちづくり	「おかえりなさい ふるさとへ」をコンセプトに、訪れた人がほっとする「古里」地域をめざし、地域全体で風鈴の飾りつけ、「癒しの小道」の整備、外国人受入のための英会話教室等を行っている。あわせて、今後は、歳時記をもとにした地域の伝統文化行事の再現などの取組により地域の活性化をめざしていく。	12月
紀北町	みえけん 三重県グリーンツーリズムコミュニ ティー	紀北町	尾鷲市、熊野市、御 浜町、紀宝町	食、環境保全、景観形成、森づくり、海づくり、産業振興、観光振興、文化芸術、教育、総合的なまちづくり、祭り・イベント	自然豊かな三重県でグリーンツーリズムを推進するため、地域で活動している「人、もの、コト」をつなげるネットワークの強化を進めている。今後は、新たな体験イベントや体験ツアー、商品開発など、グリーンツーリズムを通して、地域の活性化をめざしていく。	12月
熊野市	おおまたがわれんらくきょうざいかい よみがえれ大又川連絡協議会	熊野市	—	環境保全、景観形成、森づくり	熊野市の飛鳥町・五郷町を流れる大又川をきれいな水質に、また豊富な水量に戻そうと、広葉樹の植樹、水質調査、生活廃水の浄化などを進める。	8月
熊野市	きのもとどうどお かい 木本古道通りの会	熊野市	—	景観形成、産業振興、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり、祭り・イベント	熊野古道の一部である熊野市の本町通りを、にぎわいと活気に満ちた誇りあるまちとして再生するための活動を継続していく。	8月
熊野市	てんによざ てんによ かい 天女座 天女の会	熊野市	全国、海外	文化芸術、祭り・イベント	廃工場を音楽ホールと喫茶店に改装し、コンサートの開催や地元で伝わる神楽の継承など、熊野市だけにとどまらず全国や海外にまでその活動範囲を広げており、今後、地域でのアートフェスティバルの開催に向けて活動していく。	8月
熊野市	くまの みやがわ まも かい 熊野宮川を守る会	熊野市	—	環境保全、景観形成、産業振興、観光振興、総合的なまちづくり、祭り・イベント	熊野市の大泊町を流れる熊野宮川をきれいにしようとして、清掃活動や水生生物の調査を行うとともに、宮川の周囲の休耕地を復田し、まこもやひまわりを植え、農村景観の維持に努めていく。	9月
熊野市	みえけん 三重県ゆる協会	熊野市	津市、松阪市、鳥羽市、名張市、尾鷲市、御浜町、紀宝町、県外(和歌山県田辺市、新宮市、那智勝浦町)	防災、保健、福祉、総合的なまちづくり、その他(健康)	心と体の健康増進に寄与するため、体をゆるめる運動法である「ゆる体操」の普及活動を行っている。これを県内に広め、自主独立運営の方法を模索していく。	9月

市町名	グループ名	活動エリア		活動分野	趣旨・内容(概要)	登録月
		主たるエリア	関係エリア			
熊野市	熊野古道語り部友の会 <small>くまの ことし 語り部とも かい</small>	熊野市	尾鷲市、紀北町、御浜町、紀宝町	環境保全、観光振興、文化芸術、総合的なまちづくり	熊野古道を訪れる方に各峠の案内を行うとともに、古道の調査や研究を行うことにより、東紀州地域の活性化に寄与していく。	9月
御浜町	神木子ども見守り隊 <small>こうのぎこ みまも たい</small>	御浜町	—	その他(防犯、交通安全)	学童の交通安全、防犯運動の向上をめざし、登下校時の見守り活動を随時行い、地域の交通安全・防犯意識を高めていく。	8月
紀宝町	神内生き活き協議会 <small>こうのうちいきいききょうぎかい</small>	紀宝町	—	食、環境保全、産業振興、観光振興、文化芸術	地元の農産物加工品の製造販売・販路開拓に取り組むことで誘客を図るとともに、神内地域内を花一杯の住民の憩いの場にする活動などに取り組む。	5月
紀宝町	熊野川体感塾 <small>くまのがわたいかんじゅく</small>	紀宝町	—	食、環境保全、景観形成、森づくり、観光振興、文化芸術	世界遺産の熊野川、川舟三反帆など、地域の歴史や生活文化を活用した観光事業を展開する。	5月
紀宝町	紀宝楽居 <small>きほうらっきょ</small>	紀宝町	—	食、保健	高齢者の雇用創設を目的に、野菜(らっきょ)作りをビジネス化し、紀宝町の特産品化を目指すとともに、地元で畜産した肥料を使用するなど、地域の他産業と連携し、地域活性化に取り組んでいく。	6月
紀宝町	アクティブファーマーズ	紀宝町	熊野市、御浜町	食、産業振興、祭り・イベント	農業従事者の高齢化や後継者不足などの解決の一助となるような地域づくりに貢献する活動に取り組む。	7月
紀宝町	みんなのクラブネット紀宝 <small>きほう</small>	紀宝町	—	環境保全、教育、保健、福祉、総合的なまちづくり	地域特性を活かした地域住民の健康づくり、地域社会の活性化に取り組むとともに、県内のスポーツクラブ有志で立ち上げた「みんなのクラブネット」の活動を県域で展開する。	7月
紀宝町	健康文化のまち推進会議町民部会 <small>けんこうぶんか すいしんかいぎ ちょうみんかいい</small>	紀宝町	—	環境保全、森づくり、保健、福祉	健康体操(海亀ピクス)の創作とその普及活動、森林浴コースの整備とその普及活動、生ゴミの堆肥化活動、痴呆予防活動などを通じて、健康を切り口とした町づくり、地域づくりをめざしていく。	10月

「^{うま}美し国おこし・三重」キックオフプロジェクトについて

平成21年度は、「^{うま}美し国おこし・三重」の取組の趣旨を県民の皆さんに、より一層理解していただくとともに、取組に参画いただくため、実行委員会が、「^{うま}美し国おこし・三重」のモデルとなるパートナーグループの取組をキックオフプロジェクトとして位置づけ、重点的に支援していきます。

キックオフプロジェクトの選定は、実行委員会の企画委員会プロジェクト認定部会での議論を経て、次の10件を採択しました。

1 桑名の千羽鶴（連鶴）プロジェクト

パートナーグループ：桑名の千羽鶴を広める会（6月PG登録済）

主たる活動エリア：桑名市 ほか10市町

概要：国際協力・支援を実践している県内外の団体・教育機関と協力し、市民の「心」が込められた桑名の千羽鶴（連鶴）を同封した救援物の提供、現地日本人スタッフや海外からの留学生に対する「折姫の出前講座」などの仕組みの構築をめざし、活動を拡大していきます。さらに、子どもたち向けの講座や教材の無料化を図るため、桑名の千羽鶴（連鶴）の商品化や企業への出前講座による収益事業の実現と専用和紙の生産者開拓を図り安定化をめざします。

2 地産地消・商店街活性化・福祉のまちづくり連携プロジェクト

パートナーグループ：三重・とらいあんぐる（8月PG登録済）

主たる活動エリア：四日市市

概要：四日市1番街において、商店街の空き店舗対策として、県内の安全安心な食材を販売する定期的な「市」を開催し、イベント的展開から恒常的展開をめざします。空き店舗の活用、販売要員として障がい者・高齢者の参画を得て、収益による商店街活性化やコミュニティビジネスのモデル確立、さらには福祉のまちづくりをめざします。今年度は、県内全域の生産者とのネットワークづくり、販売イベントを実施します。

3 住民交流カフェプロジェクト

パートナーグループ：ぽっかぽかの会（6月PG登録済）

主たる活動エリア：亀山市

概要：障がいを持った方々の働く場・集いの場となる地産地消の取組をタイアップしたカフェの開業をめざします。営業的に成立させるべく、亀山市の地域風土や生産加工品を活かした個性あるメニュー（例えば、自然薯など）や雰囲気づくりを大切にしながら、亀山市内の生産者や加工グループとのネットワーク化を図ることによって、原材料の仕入れ方法の効率化、障がい者やその家族による生産加工のサポートシステムの実現をめざします。

4 手作り甲冑プロジェクト

パートナーグループ：NPO 法人 三重ドリームクラブ（8月 PG 登録済）

主たる活動エリア：津市

概要：県内に伝わる伝統祭の保存及び継承、地域イベントの支援を目的として設立された NPO 法人で、2 年前から津まつりの盛り上げと市民の参加を実現するべく取り組んでいる「手作り甲冑教室」は、甲冑の完成度の高さや城下町である地域性を祭りに表現できる試みであり、今後、手作り甲冑教室の開催機会の増、組み立てキットや完成品の販売、甲冑や甲冑隊のレンタル展開を目指します。今年度は、子供向け手づくり甲冑の製作開始、WEB インフラの整備（事業紹介や手づくり甲冑教室参加者募集など）、甲冑利活用（PR）手法の検討や試行を行っていきます。

5 たき環境くらぶ“竹遊号”プロジェクト

パートナーグループ：たき環境くらぶ“竹遊号”（ちきゅうごう）

（8月 PG 登録）

主たる活動エリア：多気町

概要：多気町民等で構成する「多気町まちづくり仕掛人塾」は、クリスタルタウン（商業・工業・環境ゾーンからなる複合的開発エリア）の中心に、地域住民の交流拠点となる公園づくりを進めてきました。今回、より幅広い住民に参画してもらい、また主体的に活動していくために、「たき環境くらぶ“竹遊号”」という新たな組織を立ち上げました。住民・企業・学校・各種団体等と行政が協力して、クリスタルの森（町公園）を管理するとともに、ここを拠点に環境に関する各種活動を展開していきます。また、クリスタルの森だけにとらわれず、町や広域的な地域を対象とした「環境を考えたまちづくり」「循環型のまちづくり」を進め、環境各分野で活動する団体とのネットワークづくりを行い、これらの活動を通じて“竹”を主要なテーマの一つとして取り組んでいきます。

6 参宮ブランド「擬革紙」復興・振興プロジェクト

パートナーグループ：参宮ブランド「擬革紙」の会（6月 PG 登録済）

主たる活動エリア：玉城町 ほか3市町

概要：江戸時代から昭和初期まで、伊勢地方では伊勢参宮の軽くておしゃれなお土産品として、動物の皮革を模した「擬革紙」を使った煙草入れなどに加工され、人気を博していました。「擬革紙」を現在によみがえらせることが、このプロジェクトの骨子です。和紙の種類や貼り合わせの溶剤製造法等のかなりの部分が不明ですが、製造のための機械の一部は再現され、製品現物は現存しています。

7 地域の文化人をテーマにした地域づくりプロジェクト

パートナーグループ：乱歩蔵びらきの会（7月 PG 登録済）

主たる活動エリア：名張市

概要：乱歩生誕の地という歴史的背景を子どもから大人まで広く市民に認知してもらい、作品や人物像についての理解、興味を促して地域に愛

着を持っていただくことを目的として、乱歩作品を題材にした舞台公演や講談会、展示会などの活動を実施してきました。「乱歩のまち・名張」として、子どもから大人まで楽しむことができる乱歩作品を舞台上演する劇団を創設し、乱歩生誕の地で実施日のみ出現する専用仮設テントで公演することを目指します。また、同時に三重県内各地の乱歩関連グループや東京豊島区（乱歩が最後の地として選んだのが池袋）、立教大学（乱歩資料や邸宅の管理者）とネットワークを構築し、乱歩サミットの開催や巡回講演を各地で展開していくことを目指します。

8 下河内の里山を守るプロジェクト

パートナーグループ：下河内の里山を守る会（6月 PG 登録済）

主たる活動エリア：紀北町

概要：4世帯5人になった下河内地区の歴史と生活文化を継承していくため、下河内住民と下河内を愛する有志が集まり、地域産品の蕎麦を利用した蕎麦打ち体験、農地整備などを実施しています。本年度は地域産品の販売による活動資金の確保や蕎麦打ちのスキルアップ、田畑や溪流などの自然資源を活用した体験メニューの開発などを行います。

9 東紀州地域の農業を守れ 侍プロジェクト（七人の農業人獲得大作戦）

パートナーグループ：アクティブファーマーズ（7月 PG 登録済）

主たる活動エリア：紀宝町 ほか4市町

概要：東紀州地域でも農業の現場では就農者の減少が続き、特に中山間地の小規模な耕作地などは耕作放棄が続いています。地域での農を維持していくことは、産業としての農業にとどまらず、地域の歴史・文化や慣習・修景などの地域アイデンティティを維持していくことにつながります。アクティブファーマーズは、東紀州地域の若手農業経営者のグループです。毎年七人の新規就農者を確保し、産地（南紀みかん、梅）としての規模を維持するために、「情報発信手法」、「就農希望者とのコンタクト」、「受け入手法の検討」、「地域交流拠点づくり」、「農地・借家問題の解決」、「集落やグループでの支え合い手法の検討」など新規就農者に対する支援活動を展開し、農業を核とした地域活性化の活動を目指します。

10 医食同源・三重の生物資源利活用プロジェクト

パートナーグループ：「医食同源みえ」（5月 PG 登録済）

主たる活動エリア：伊勢市 ほか18市町

概要：統合医療（西洋医療と漢方、鍼灸、中医、民間療法など伝統医療を統合した医療体系）の考え方を「医食同源」というわかりやすい言葉でアピールし、その運動の裾野を広げていくために、県内各地の統合医療に関心のあるメンバーを中心に産官学民連携で設立されました。「伝統薬の復活」「山野草・薬草を核にしたツーリズムの振興」「薬膳・健康食の提供」「ライフスタイルの啓発」など、県内のグループのネットワークを構築しつつ、各グループの活動を支援する中間支援組織をめざします。